

- 問1 中央高地に位置する甲府盆地で、ぶどうなどの果樹栽培が盛んに行われている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 県土の約85%が山地であるため、水はけの良い扇状地や傾斜地を有効に活用する必要があったから。

2. 海岸沿いの平坦な土地が広がっており、海風による塩害を受けにくい広大な農地が確保できるから。

3. 瀬戸内の温暖な気候に属しており、桃やマスカットとともに大規模な施設園芸が発達したから。

4. 一年を通じて降水量が非常に多く、稲作に必要な水を確保しすぎるため、湿気を好む果樹を選んだから。
- 問2 石川県金沢市は、江戸時代に加賀藩の城下町として栄えた歴史を持ちます。現代の都市景観においても、日本三名園の一つに数えられる庭園の周辺に、美術館や博物館、図書館などの多くの文化施設が集まっているのが特徴です。この文化施設の集積地近くに位置する、歴史的な庭園の名称として正しいものはどれですか。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)
1. 後楽園

2. 兼六園

3. 偕楽園

4. 縮景園
- 問3 ある都道府県の産業について、農業産出額では米の産出額に比べて野菜の産出額が約3倍と高く、イチゴなどの栽培が盛んである一方、製造品出荷額等が約17兆円にのぼり、工業が極めて盛んであるという特色を持つ県を選んでください。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 宮崎県

2. 北海道

3. 新潟県

4. 静岡県
- 問4 富山県にある黒部ダムの東側に位置し、富山・岐阜・長野・新潟の各県にまたがって南北に伸びる山脈があります。通称「北アルプス」とも呼ばれ、標高3000メートル級の山々が連なるこの山脈の名称として正しいものを選んでください。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 木曽山脈

2. 日高山脈

3. 飛騨山脈

4. 赤石山脈
- 問5 山梨県上野原市付近の地形において、標高が高くなっていく斜面の中腹に位置する地点から、南側の桂川が流れる方向を眺めた際に確認できる景観の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. さらに北側へ続く急峻な山々と、その頂上にある展望台

2. 崖のすぐ下を通る道路と、それを取り囲む密集した住宅地

3. 国道20号が複雑に交差する大規模な交差点と商業施設

4. 桂川に架かる桂川橋と、その付近を走る鉄道の線路
- 問6 新潟県や富山県といった北陸地方の県における、土地利用の統計的な特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。耕地面積全体に占める「田」と「畑」の割合に着目して答えなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 果樹園などの畑地利用が中心であり、田の面積は10%未満である

2. 耕地面積のうち、田の占める割合が80%を超える非常に高い水準にある

3. 耕地面積のうち、田と畑がほぼ50%ずつで、混合農業が盛んである

4. 都市化が進んでいるため、田の面積は耕地全体の30%以下に留まっている
- 問7 日本の本州中部において、日本海側に面しており、戦国時代には上杉謙信が拠点としたことで知られ、現在は越後平野を中心に米の生産が非常に盛んな都道府県はどこか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. 富山県

2. 長野県

3. 新潟県

4. 埼玉県
- 問8 愛知県豊橋市は全国でも有数の農業産出額を誇ります。この地域の農業産出額の内訳を示した統計において、米、果実、畜産などの項目を抑え、全体の半分以上（約51.4%）を占めている品目として最も適切なものを選んでください。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. 畜産

2. 米

3. 野菜

4. 果実
- 問9 長野県の諏訪盆地において、戦後に製糸業から精密機械工業へと産業構造が大きく転換した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 第二次世界大戦中に大都市から工場が疎開してきたことを契機に、高度な加工技術が地域に根付いた。

2. 高度経済成長期に太平洋ベルトに位置する利点を活かして、大規模な石油化学コンビナートが建設された。

3. 豊かな森林資源を背景に、江戸時代から続く伝統的な家具製造が機械化され、輸出産業へと成長した。

4. 内陸工業地域としての特性を活かし、輸入した鉄鉱石や石炭を原料とする重化学工業の拠点として再開発された。
- 問10 ある都道府県の統計データにおいて、年平均気温が16.5度、年降水量が2324.9mmと温暖多雨な気候を示し、農業産出額の上位品目に「茶」と「みかん」の両方が含まれている都道府県はどこですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 宮崎県

2. 長野県

3. 静岡県

4. 宮城県
- 問11 岐阜県の県境付近にそびえる山々を水源とし、伊勢湾などの海へ注ぐ木曽三川（木曽川・長良川・揖斐川）などの河川について、その地理的な特徴を説明した文として正しいものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 上流部で深い渓谷を形成し、流路を大きく西に変えて隣接する県を通じて海へ注ぐ

2. 水源から河口まで一貫して緩やかな流れを保ち、大規模な水運の拠点となっている

3. 火山のある半島を迂回するように流れ、広大な平野で大規模な稲作を支える

4. 山間部から直接東へ流れ、県境を越えることなく最短距離で太平洋へ注ぐ
- 問12 北陸新幹線の延伸開業が、石川県や富山県などの沿線地域に与えた地理的・社会的な影響の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 太平洋側の工業地帯と直接結ばれたことで、内陸部に大規模な石油化学コンビナートが形成された。

2. 日本海側から太平洋側への人口流出を阻止するため、すべての特急列車が廃止され新幹線に一本化された。

3. 首都圏との移動時間が大幅に短縮されたことで、観光客の増加やビジネスの活性化が進んだ。

4. 農産物の高速輸送が可能になったことで、北陸地方は日本最大の近郊農業地域へと変化した。
- 問13 日本の交通網の大動脈である東海道新幹線の路線において、静岡県から西へ進み、岐阜県に到達する直前に通過する、中京工業地帯の中心地を含む都道府県はどこですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 愛知県

2. 三重県

3. 滋賀県

4. 長野県
- 問14 豊橋市の農業は、生産した農作物を新鮮な状態で大都市へ出荷できるという利点を持っています。このような農業が発展した背景にある、地理的な交通条件についての説明として正しいものを選んでください。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. 冷涼な高冷地の気候を活かし、他の地域が生産できない夏場に供給できるため

2. 広大な干拓地を活かして大規模な自動化農場を建設し、生産コストを抑えたため

3. 国際貿易港が隣接しており、航空機を利用した海外への鮮度保持輸送が可能なため

4. 東名高速道路のインターチェンジが近く、大都市へ迅速にトラック輸送できるため